

家畜排せつ物を利用したバイオガス発電による環境対策



バイオガス発電施設の外観



フリーストール牛舎

＜概要＞

- ・ 事業実施主体：農事組合法人サンエイ牧場
（北海道^{ひろおぐんたいきちょう}広尾郡大樹町）
- ・ 発電設備：バイオガス発電
発電出力 300kW（150kW×2基）
発電電力量 183万kWh/年（予定）
（熱出力358kW（179kW×2基））
- ・ 燃料：乳牛の排せつ物
（メタン発酵させて発電）
103m³/日（成牛約1,400頭分）
- ・ 建設費：約3億6千万円
- ・ 運転開始時期：平成25年1月

＜特徴＞

- ・ 酪農の臭気対策を目的にプラントを建設。地元の農機具メーカー等が、既存のロードヒーティング技術の応用を始め、自社で発案・工夫した発酵槽等の設備を設計・整備することにより、バイオガスプラントの高コスト構造を打破。
- ・ 消化液は自家畑に散布。将来的には販売も。
- ・ プラントの建設資金は、酪農経営に必要な不可欠な家畜排せつ物処理施設として、既存のスーパーL資金（認定農業者用の融資）により調達（補助金なし）。